

いぶり産業遺産

# 炭鉄港

「炭鉄港」とは、近代の北海道を築く基となった三都(空知・室蘭・小樽)を、

石炭・鉄鋼・港湾・鉄道というテーマで結ぶことにより、

人と知識の新たな動きを作り出そうとする取り組みです。

その歴史を紐解くと、北海道の産業革命の物語が見えてきます。

この「炭鉄港」のストーリーは、2019年5月20日に、

文化庁が選定する「日本遺産\*」に認定されました。

おいわけ  
道  
OIWAKE  
炭鉄港

※日本遺産…地域の歴史的魅みや特色を通じてわが国の文化・伝統を語るストーリーを、文化庁が「日本遺産 (Japan Heritage)」として認定するもの。炭鉄23、鉄鋼5、港湾5、鉄道12の計45で構成。

## 北海道の発展を支えた三都の物語

北海道の近代化の契機は、1879年の官営幌内炭鉱の開鉱でした。空知の石炭を小樽港へ運ぶ幌内鉄道は、札幌の発展にも貢献しました。1892年に鉄道が延伸された室蘭は石炭積出港となり、1907年には日本製鋼所、1909年には北海道炭礦汽船輪西製鐵場が設立され、室蘭は鉄のまちに。室蘭への鉄道延伸と同時に、今の安平町内にあった追分駅構内には「追分機関庫」が設置され、運転拠点として活用されました。空知・小樽・室蘭を結ぶ鉄道と、三都の基幹産業である石炭・港湾・鉄鋼は、北海道の急速な発展を支えた立役者でした。

## 炭鉄港の歴史を活かしたまちづくり

室蘭港は、最盛期には本州向け道内炭の約6割を移しましたが、1976年に石炭積出港としての役割を終えました。また、1975年には日本最後のSLとして、室蘭一岩見沢間で定期旅客運行列車が、追分一タ張間で貨物列車が運行しました。そして現在、室蘭市では幻想的な「工場夜景」や国の登録有形文化財「旧室蘭駅舎」などが人気を集め、安平町では2019年に「道の駅 あびらD51ステーション」がオープンし、蒸気機関車や鉄道関連資料が展示されるなど、炭鉄港の歴史を活かしたまちづくりが進められています。

情報リンク 炭鉄港

<https://3city.net/>

おすすめスポット 旧室蘭駅舎(観光案内所)

住 室蘭市海岸町1丁目5-1

電 0143-23-0102(室蘭観光協会)

時 8:00~19:00(11月~3月は17:00まで)

休 1/1

車でのアクセス / 高速道路利用  
●札幌北ICから……約1時間40分  
●新千歳空港ICから……約1時間5分

おすすめスポット 道の駅あびらD51ステーション

住 安平町追分柏が丘49-1

電 0145-29-7751

時 9:00~18:00(11月~3月は17:00まで)

休 12/31~1/3

車でのアクセス / 高速道路利用  
●札幌北ICから……約45分  
●新千歳空港ICから……約25分

# 知識が深まる、好奇心の旅へ。いぶりのミュージアム

## A 室蘭市民俗資料館(とんてん館) (室蘭市)

**住** 室蘭市陣屋町2丁目4-25  
**電** 0143-59-4922  
**時** 10:00～16:00  
**休** 月曜、祝日の翌日、年末年始、1/20～3/19

室蘭の歴史と文化についてさまざまな視点から展示。埋蔵文化財を含む約22,000点の資料が収蔵展示され、特に縄文期の資料が豊富です。

## B 地球岬 (室蘭市)

**住** 室蘭市母恋南町4-77

100m前後の断崖絶壁が連なり、快晴の日には太平洋を一望できる人気スポット。アイヌ語で「断崖」を意味する「チケブ」が由来です。

## C 苫小牧市美術博物館 (苫小牧市)

**住** 苫小牧市末広町3丁目9-7  
**電** 0144-35-2550  
**時** 9:30～17:00  
**休** 月曜(祝日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3)

苫小牧の歴史、考古、自然、文化芸術に関する調査・研究、収集・保管するとともに、展示・教育を通してその魅力を広く発信している博物館です。

## D 勇武津資料館 (苫小牧市)

**住** 苫小牧市字勇弘132-32  
**電** 0144-56-0201  
**時** 10:00～17:00  
**休** 月曜(祝日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3)

幕末の勇武津会所の外観を模した建物に、当時の生活をしのばせる調度品、弁天貝塚の出土品、アイヌ民族や北前船の資料などを展示しています。

## E 登別市郷土資料館 (登別市)

**住** 登別市片倉町6丁目27  
**電** 0143-88-1339  
**時** 10:00～17:00(11月～3月は16:00まで)  
**休** 月曜(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日、年末年始

登別市に移住した仙台藩士・片倉家に関する資料、アイヌ文化に関する資料などを展示。片倉家の白石城をモデルとした外観が特徴的です。

## F 知里幸恵 銀のしずく記念館 (登別市)

**住** 登別市登別本町2丁目34-7  
**電** 0143-83-5666  
**時** 9:30～16:30  
**休** 火曜日(祝日の場合は開館)、冬期休館(12/20～2月末)

アイヌの物語を初めてローマ字表記で文字化した『アイヌ神謡集』の著者、知里幸恵の生涯と業績について学ぶことができる博物館です。

## G だて歴史文化ミュージアム (伊達市)

**住** 伊達市梅本町57-1  
**電** 0142-25-1056  
**時** 9:00～17:00  
**休** 月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始(12/31～1/5)

「本館」「体験学習館」の2つで構成。縄文・アイヌ・武士の文化の同時展示で伊達の歴史を紹介しています。

## H 有珠善光寺宝物館 (伊達市)

**住** 伊達市有珠町124  
**電** 0142-38-2007  
**時** 9:00～17:00(完全予約制)  
**休** 不定休

幕府や朝廷関係資料などの国指定重要文化財をはじめ、道有形文化財、アイヌ民族資料などを展示保管。完全予約制のため、見学の場合は事前連絡を。

## I カムイチャン史跡公園 (豊浦町)

**住** 豊浦町札文華

かつてアイヌ民族が使用していたと考えられるチャシ跡を見ることができる公園。国指定の景勝地「ピリカノカ」に指定されています。

## J 三松正夫記念館 (壮瞥町)

**住** 壮瞥町字昭和山184-12  
**電** 0142-75-2365  
**時** 8:00～17:00(11月～3月は9:00～16:00まで)  
**休** 1～3月不定休

昭和山山の成長の経過を詳細に観察記録した「ミマツダイヤグラム」など、三松正夫氏の資料を保管展示している記念館です。

## K 仙台藩白老元陣屋資料館 (白老町)

**住** 白老町陣屋町681-4  
**電** 0144-85-2666  
**時** 9:30～16:30  
**休** 月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始(12/29～1/3)

国の指定史跡白老仙台藩陣屋跡の敷地内に立つ資料館。史跡の絵図面や古文書、武器など約300点の資料を所蔵しています。

## L 軽舞遺跡調査整理事務所 (厚真町)

**住** 厚真町字軽舞205-2  
**電** 0145-28-2733  
**時** 9:00～17:00  
**休** 土日祝(事前連絡で対応可)

厚幌ダム工事にともなう発掘調査での出土品や、農耕具などの生活用品を中心に約9000点も収蔵し、郷土資料館として一般公開しています。

## M 洞爺湖芸術館 (洞爺湖町)

**住** 洞爺湖町洞爺町96-3  
**電** 0142-87-2525  
**時** 9:30～17:00  
**休** 月曜(祝日の場合は翌日)、12/1～3/31

旧洞爺村役場庁舎を改装した、湖畔の小さな美術館。北海道を代表する彫刻家・砂澤ピッキの作品をはじめ、芸術作品と洞爺湖の両方を満喫できます。

## N 早来郷土資料館 (安平町)

**住** 安平町早来大町156-1  
**電** 0145-29-7036(安平町教育委員会社会教育グループ)  
**時** 9:00～17:00(要事前連絡)  
**休** 土日祝、年末年始

旧早来町開拓の歴史がわかる、貴重な農機具などが収められています。

## O ほべつ道民の森野外博物館 (むかわ町)

**住** むかわ町穂別108-2

タイムトンネルをくぐると、森の中に巨大なアンモナイトやクビナガリュウなどのオブジェが点在する古代の世界が出現します。

**A～O** 各施設の位置はp1・p2のマップをご参照ください。

# 知ると旅がもっと面白くなる! いぶりのアイヌ語地名

出典…北海道環境生活部  
アイヌ政策推進局アイヌ政策課「アイヌ語地名リスト」

## 室蘭市

イタンキ ◀◀◀ イタンキ【椀】  
 祝津【しゅくづ】 ◀◀◀ シクトゥル、シクトゥツ【ノビル(エゾネギ)シクツウシ(シクツウ)【全くの岩崖群在する所】】  
 地球【ちきゅう】 ◀◀◀ チケブ【自分を削ったもの=断崖絶壁】  
 母恋【ぼこい】 ◀◀◀ ポクオイ【ボコイ【ホッキ貝・群生する所】】  
 室蘭【むろらん】 ◀◀◀ モルラン【小さい坂】】

## 苫小牧市

ウトナイ ◀◀◀ ウツナイ【肋骨・川】  
 苫小牧【とまこまい】 ◀◀◀ トマツオマイ【トマコマイ】  
 【沼の(ある)・マコマイ川(山の方へ入っている・川)】

## 登別市

オロフレ ◀◀◀ オロフレベツ【水中赤き川(その中が赤い川)】  
 登別【のぼりべつ】 ◀◀◀ ヌブルベツ【水の色の濃い川】  
 幌別【ほるべつ】 ◀◀◀ ポロベツ【大きい川】

## 厚真町

厚真【あつま】 ◀◀◀ アツマ【モモンガ・泳ぐ】  
 アツオマ【アツオマ】【オヒョウコにある所】  
 アツマム【アツマム】【向こうの・湿地帯】

## 安平町

遠浅【とあさ】 ◀◀◀ トアサム【沼の奥】、トサム【沼の端】  
 有珠【うす】 ◀◀◀ ウシロ【ウソロ】、【入江(入江の内)】ウシ【入江】  
 若生【わかおい】 ◀◀◀ ワッカオイ【水所(水・ある・所)】

## 伊達市

## 豊浦町

貫気別【ぬつきべつ】 ◀◀◀ ヌツキベツ【濁水の・川】  
 札文華【れぶんげ】 ◀◀◀ レブンケブ【崩れたる崎(沖の方へ)・割るもの(断崖)】

## 壮瞥町

壮瞥【そうべつ】 ◀◀◀ ソベツ【滝・川】  
 蟠溪【ばんけい】 ◀◀◀ パンケウ【下の湯(下流側の・温泉)】

## 白老町

白老【しらおい】 ◀◀◀ シラウオイ【アブ多き所(アブ・多い所)】  
 ポロト ◀◀◀ ポロト【大きい・沼】

## 洞爺湖町

洞爺【とうや】 ◀◀◀ トヤ【湖・の岸】

## むかわ町

穂別【ほべつ】 ◀◀◀ ホベツ【小川(小さい川)】  
 ポンベツ【子なる川】



北海道胆振総合振興局  
地域創生部 地域政策課

〒051-8558 北海道室蘭市海岸町1丁目4番1号 むろらん広域センタービル4階  
TEL:0143-24-9567 FAX:0143-22-5170